

# 木更津市食育推進アクションプラン進行管理票 (令和5年度)

木更津市食育計画のキャッチフレーズ  
～いきる つながる 食育のチカラ～

【食育推進アクションプラン取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）】

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	①妊娠期の食育の推進	健康推進課	妊娠をきっかけにして、望ましい食生活について、知ることができる	1	新規	妊娠中期（妊娠16週から27週）の妊婦に、マタニティ栄養講座を実施し、栄養管理の必要性の理解と動機づけを図ります。 実施回数 現状：年1回 目標：年6回	4、5月実施後に、事業内容の検討をした結果、他事業（プレママ講座）内に含めた形での実施に変更となりました。 実施回数：年11回	A	目標回数を達成	更に事業内容の検討をした結果、マタニティ講座にて引き続き実施し、望ましい食生活について周知します。	妊娠中期（妊娠16週から27週）の妊婦に、マタニティ講座を実施し、栄養管理の必要性の理解と動機づけを図ります。 実施回数 現状：年11回 目標：年12回
				母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：77% 目標：93%	2	継続	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施しました。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 76%（241人）	B	目標の82%を達成	個別指導の内容を標準化し、対象者に必要な情報が伝わるよう努めます。	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：76% 目標：94%	
				妊婦歯科健康診査の受診率の増加	3	継続	妊娠期の歯周病予防が早産や低体重児の発症リスク軽減に関連していることから、妊婦歯科健康診査（妊娠期間中に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診）を実施します。また、引き続き、受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：35.9% 目標：38.0%	市内51協力歯科医療機関において、妊婦を対象とした個別歯科健診を実施しました。また、受診率向上に向けて、市公式SNSや広報紙を活用した受診勧奨を実施しました。 受診率：34.5%（344人）	B	目標の91%を達成	健診の認知度を高め、受診の必要性を感じる人を増やすことができよう更なる周知に努めます。	妊娠期の歯周病予防が早産や低体重児の発症リスク軽減に関連していることから、妊婦歯科健康診査（妊娠期間中に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる歯科健診）を実施します。また、引き続き、受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：34.5% 目標：38.5%
	②乳幼児期の食育の推進	食事の基礎作りの推進		4	継続	乳児健康診査（4か月児）受診の保護者を対象に離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて伝えます。 実施率 現状：98.9% 目標：100%	離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて保護者へ伝えました。 実施率：100%（497人）	A	目標の実施率を達成	食事の基礎作りが推進されるよう、離乳食講習の内容検討に努めます。	乳児健康診査（4か月児）を受診した保護者のうち対象者に対して離乳食講習を実施し、離乳食の目的や進め方などについて伝えます。 実施率 現状：100% 目標：100%	
		1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.1% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%		5	継続	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.4%（955人） 3歳児健診 99.6%（984人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%		
		産婦歯科健康診査の受診率の増加		6	継続	産後の口腔衛生状態が、こどものむし歯発症リスク軽減と関連していることから、乳児（1歳未満）をもつ母を対象に、お子さんが1歳になるまでの間に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる産婦歯科健康診査を実施します。また、引き続き、更なる受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：17.8% 目標：18.0%	市内51協力歯科医療機関において、産婦を対象とした個別歯科健診を実施しました。また、受診率向上に向けて市公式SNSや広報紙を活用した受診勧奨を実施しました。 受診率：26.4%（231人）	A	目標の受診率を達成	健診の認知度を高め、受診の必要性を感じる人を増やすことができよう更なる周知に努めます。	産後の口腔衛生状態が、こどものむし歯発症リスク軽減と関連していることから、乳児（1歳未満）をもつ母を対象に、お子さんが1歳になるまでの間に1回無料で協力歯科医療機関で受けられる産婦歯科健康診査を実施します。また、引き続き、更なる受診率向上に向けて市公式SNSを活用した受診勧奨を実施します。 受診率 現状：26.4% 目標：27.0%以上	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況(R5)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に基づく改善内容	令和6年度取組内容	
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組内容(指針)											
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	②乳幼児期の食育の推進	健康推進課	3歳児歯科健康診査時にかかりつけ歯科医を持っている児の増加に向けた取り組みの推進	7	継続	幼児期からかかりつけ歯科医を持つことができるよう、1歳6か月児健康診査の歯科保健指導にてその必要性を伝えていきます。 指導実施率 現状：99.7% 目標：100%	幼児期からかかりつけ歯科医を持つことができるよう、1歳6か月児健康診査の歯科保健指導にてその必要性を伝えていきます。 指導実施率：100% (960人)	A	目標を達成	引き続き、歯科保健指導を通して、その必要性を伝えていきます。	幼児期からかかりつけ歯科医を持つことができるよう、1歳6か月児健康診査の歯科保健指導にてその必要性を伝えていきます。 現状：100% 目標：100%	
				巡回口腔衛生指導実施園数の増加または維持	8	継続	歯の健康づくりの基盤作りのため、市内の保育園・幼稚園を対象に園児(3・4・5歳児)に巡回口腔衛生指導を実施します。また、引き続き、感染症流行に対し柔軟な対応をとることで全ての園で実施できるようにします。 実施施設数 現状：保育園15園・幼稚園10園 計1,693人 目標：保育園16園・幼稚園12園 計2,200人	市内の保育園・幼稚園を対象に園児(3・4・5歳児)に巡回口腔衛生指導を実施しました。感染症の流行に対し不安がある園には資料配布を行うなど柔軟な対応を行いました。 実施施設数 現状：保育園16園・幼稚園11園 計1,754人	B	目標の96%の達成	感染症流行等の理由から実施の困難な園があったため、引き続き、柔軟に対応していきます。	歯の健康づくりの基盤作りのため、市内の保育園・幼稚園を対象に園児(3・4・5歳児)に巡回口腔衛生指導を実施します。また、引き続き、感染症流行に対し柔軟な対応をとります。 実施施設数 現状：保育園16園・幼稚園11園 計1,754人 目標：保育園16園・幼稚園12園 計2,200人	
				お口の機能発達動画の閲覧数の増加	9	拡大	口腔機能に関する知識の普及を図るため、市ホームページに口腔機能の発達に関する資料および動画を配信します。 視聴回数 現状：入門編517回、実践編①405回、実践編②314回 目標：入門編870回、実践編①660回、実践編②510回	乳児健診や7か月児教室の対象者へ、口腔機能の発達に関する資料および動画を周知することで、知識の普及啓発を行いました。 視聴回数(掲載当初からの積算) 入門編628回、実践編①490回、実践編②369回	C	目標の72~74%の達成状況であり、更なる周知が必要である。	周知の機会を更に増やすことができるよう努めます。	各教室や各健康教育等で、市ホームページ掲載の口腔機能の発達に関する資料や動画を周知し、多くの人に視聴してもらえるよう促します。 視聴回数 現状：入門編628回、実践編①490回、実践編②369回 目標：入門編870回、実践編①660回、実践編②510回	
		③学童期の食育の推進	健康推進課	子育て支援課	保護者が食育の大切さについて知り、家庭でも取り組む	10	新規	令和4年10月に開設した、わかば子育て支援センターで、子育てについての相談や離乳食・幼児食についての情報提供、助言を行うとともに、食育に関する啓発を行います。 啓発人数 現状：831組 目標：1,000組	わかば子育て支援センターで、子育てについての情報提供、助言を行うとともに、食育に関する啓発を行いました。 啓発人数：1,840組	A	目標数を達成	食育だより、対話や啓発等の機会の増加を図ります。	地域子育て支援施設の利用者に、子育てについての相談や離乳食・幼児食についての情報提供、助言を行うとともに、チラシの配布等食育に関する啓発を行います。 啓発人数 現状：1,840組 目標：1,900組
				巡回口腔衛生指導実施校数の維持	11	継続	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、市立小学校の児童(各校4・5年生のいずれかの学年と希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：小学校18校 1,095人 目標：小学校18校 1,250人	市立小学校の児童(各校4・5年生のいずれかの学年と希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施しました。 実施学校数：小学校18校 1,263人	A	目標校数を達成	引き続き全小学校で実施していきます。	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、市立小学校の児童(各校4・5年生のいずれかの学年と希望学年)を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：小学校18校 1,263人 目標：小学校18校 1,250人	
				フッ化物洗口実施校数の増加	12	拡大	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口(週1回小学校(1~6年生の希望者)でフッ化物溶液を用いてブクブクうがいをする)を実施します。また、学校が実施しやすい体制を構築できるよう努めていきます。 実施学校数 現状：小学校1校 325人 目標：小学校16校 3,200人	永久歯のむし歯予防を目的としたフッ化物洗口を昨年度より実施校数を増やし実施することができました。 実施学校数：小学校6校 1,055人	C	目標には至りませんが、コロナによって大幅に減少した実施校数を昨年度より増やすことができました。今後も各学校の状況を勘案し、進めていく必要があります。	実施校数の増加に向けて、関係機関との連携を深め、学校で実施しやすい体制を構築していきます。	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口(週1回小学校(1~6年生の希望者)でフッ化物溶液を用いてブクブクうがいをする)を実施します。また、学校が実施しやすい体制を構築できるよう努め、実施校数を増やしていきます。 実施学校数 現状：小学校6校 1,055人 目標：小学校18校 4,050人	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	③学童期の食育の推進	学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校27校 目標：全小中学校30校	全小中学校が作成・実施しました。 実施校数：全小中学校30校 (全小学校18校) (全中学校12校)	A	目標校数を達成	引き続き、全小中学校で実施していきます。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校
			学校給食センター 学校給食課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	14	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：71.1% 目標：85%以上	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信しました。 地元生産食材使用率：74.2%	B	天候等により予定していた産地の食材が納品できないこともあったが、各施設ごとに地産地消に取り組んだ。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組めます。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：74.2% 目標：85%以上
			環境政策課	地元生産品の地域内消費の促進	15	拡大	様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率 現状：70% 目標：78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認	夏休みの期間を活用し、市立小学5年生全員にエコノートの配布し、地産地消の推進を図りました。 取組率：60%	C	現状の取組率よりも低い結果となりました。エコノートの取組については学校や先生毎の指導の影響により取り組みへの関心度が大きく異なります。	環境政策課より、学校側へ関心を大きくしてもらえような案内等の働きかけを行っていきます。	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率 現状：60% 目標：78%
	④思春期の食育の推進	健康推進課	巡回口腔衛生指導実施校数の維持	16	継続	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、全市立中学校の生徒（学校希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：中学校12校 1,069人 目標：中学校12校 1,100人	全市立中学校の生徒（学校希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施しました。 実施学校数：中学校12校 1,168人	A	目標校数を達成	引き続き全市立中学校で実施していきます。	自身でむし歯や歯周病が予防できるよう知識の普及啓発のため、全市立中学校の生徒（学校希望学年）を対象に巡回口腔衛生指導を実施します。 実施学校数 現状：中学校12校 1,168人 目標：中学校12校 1,100人	
			フッ化物洗口実施校数の増加	17	拡大	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口（週1回中学校（1～3年生の希望者）でフッ化物溶液を用いてフックフクがいをする）を実施します。 実施学校数 現状：中学校3校 214人 目標：中学校3校 220人	昨年度に引き続き、永久歯のむし歯予防を目的としたフッ化物洗口を実施することができました。 実施学校数 中学校3校 224人	A	目標校数を達成	引き続き、フッ化物洗口を実施していきます。	永久歯のむし歯予防を目的に、フッ化物洗口（週1回中学校（1～3年生の希望者）でフッ化物溶液を用いてフックフクがいをする）を実施します。 実施学校数 現状：中学校3校 224人 目標：中学校3校 235人	
		学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	【再掲】 各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：小中学校27校 目標：全小中学校30校	全小中学校が作成・実施しました。 実施校数 全小中学校30校 (全小学校18校) (全中学校12校)	A	目標校数を達成	引き続き、全小中学校で実施していきます。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校	
		健康推進課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	18	継続	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年3回 目標：年10回以上	広報誌、市公式SNSで食の情報を発信しました。 情報発信回数：年8回	B	目標の80%を達成	年間計画を作成し、情報発信に努めます。	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年8回 目標：年10回以上	
	⑤青年期の食育の推進		健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	19	継続	単純肥満、腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：92.6% 目標：95%以上	若年期健康診査後に、対象者に保健指導を実施しました。 実施率：99.2%（123人）	A	目標を達成	保健指導を受けやすい体制づくりを検討します。	単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：99.2% 目標：95%以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題 点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	⑤青年期の食育の推進	健康推進課	適切な口腔ケアの定着に向けた取り組みの推進	20	継続	歯周病が重症化する前の青年期に向けた歯周病対策として、若年期健康診査受診者を対象とした歯周病予防に関するチラシ配布を実施し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行います。 現状：100% 目標：100%	若年期健康診査受診者を対象とした歯周病予防に関するチラシ配布を実施し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行いました。 実施率：100%（745人）	A	目標を達成	継続して実施し、知識の普及啓発を行います。	歯周病が重症化する前の青年期に向けた歯周病対策として、若年期健康診査受診者を対象とした歯周病予防に関するチラシ配布を実施し、自身で適切な口腔ケアが行えるよう知識の普及を行います。 現状：100% 目標：100%
			生涯学習課 公民館	市民が安全・安心な食品を選択することができるよう啓発	21	拡大	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、更に啓発に努めます。 講座開催数 現状：27回（参加者数423人） 目標：30回（参加者約450人）	青少年対象「料理教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」等、手作りの大切さを学ぶ講座を開催しました。 実施回数：17回（参加者数：205人）	C	各公民館において、啓発を実施することはできましたが、講座開催の目標回数には届きませんでした。	各公民館で地域と相談しながら、必要に応じて料理教室等を実施するよう努めます。	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、更に啓発に努めます。 講座開催数 現状：17回（参加者205人） 目標：30回（参加者約450人）
		⑥壮年期の食育の推進	健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	22	継続	からだづくりや生活習慣病の合併症予防および重症化予防を目的として、食生活改善のための情報を広報誌や市公式SNS等で発信していきます。 現状：年1回（配信回数） 目標：年10回以上	広報誌、市公式SNSで食の情報を発信しました。 情報発信回数：年8回	B	目標の80%を達成	年間計画を作成し、情報発信に努めます。	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年8回 目標：年10回以上
				不自由なく咀嚼できる者の割合の増加に向けた取り組みの推進	23	拡大	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年1回 目標：年2回以上	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施しました。 健康教育実施回数：年2回	A	目標を達成	継続して実施し、知識の普及啓発を行います。	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年2回 目標：年2回以上
			生涯学習課 公民館	広く市民への情報提供	24	拡大	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 現状：年1回 目標：年1回以上	2つの公民館において、公民館だより等に地産地消の料理メニューについての掲載を行いました。 情報発信回数：年9回	C	市内全ての公民館での情報提供はできませんでしたが、十分な情報発信ができました。 【評価修正】2公民館のみの実施であるため、A⇒Cへ変更	市内全ての公民館で、郷土料理等に親しみが持てるような情報提供ができるように努めます。	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数 目標：年1回以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容（指針）										
1 生涯にわたるライフステージに応じた切れ目のない食育の推進	ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	⑦高齢期の食育の推進	健康推進課	加齢に伴う身体の変化・体力の低下に応じた食生活の実践の推進	25	新規	介護予防を視野に入れ、健康診査事後の個別相談や全公民館が実施する健康教室等の参加者への講話等で栄養指導を実施します。 実施回数 現状：年2回 目標：年20回以上	公民館等で実施する健康教室等で栄養指導を実施しました。 実施回数：年20回	A	目標を達成	継続して栄養指導を実施します。	介護予防を視野に入れ、公民館等で実施する健康教室等の参加者への講話等で栄養指導を実施します。 実施回数 現状：年20回 目標：年20回以上
			健康推進課	不自由なく咀嚼できる者の割合の増加に向けた取り組みの推進	26	拡大	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年0回 目標：年1回以上	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施しました。 健康教育実施回数：年4回	A	目標を達成	継続して実施し、知識の普及啓発を行います。	歯や口の疾患（むし歯や歯周病等）予防に関する知識や口腔機能に関する知識を普及啓発するため、健康教育を実施します。 健康教育実施回数 現状：年4回 目標：年4回以上
			高齢者福祉課	高齢者の口腔機能の向上	27	継続	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施します。 実施回数 現状：年28回程度 目標：年28回程度	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施しました。 実施回数：年27回	B	高齢者サロンとの日程調整が合わず、1回実施できませんでした。	歯科衛生士と講義の内容や資料等の見直しをし、内容の充実を図ります。	口腔機能の向上のため、歯科衛生士を高齢者サロン等へ派遣し、口腔機能向上講話等を実施します。 実施回数 現状：年27回 目標：年30回
2 家庭・学校・地域等それぞれに応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	①望ましい食習慣・生活リズムの確立の推進	子ども保育課 子育て支援課	子どもの望ましい食習慣及び生活リズムの確立	28	拡大	給食だより、食育だより、保育士参加行事等を通し、市立保育園在園児の保護者160世帯と地域子育て支援等利用者1,000世帯に対し、チラシの配布や相談時の対話を通して啓発を行います。 啓発世帯数 現状：990世帯 目標：1,240世帯	市立保育園（2園）及び支援センターで、給食だよりや食育だよりの発行や、給食展示の際の啓蒙、また、相談時の対話や、チラシの配布を行いました。 啓発世帯数：2,000世帯	A	目標世帯数を達成	子育て支援センターが子ども保育課から子育て支援課に移管しますが、引き続き協力し啓発を行います。	給食だより、食育だより、保育士参加行事等とおし、市立保育園在園児の保護者160世帯と地域子育て支援等利用者に対し、配信や相談時の対話、チラシ配布を通して啓発を行います。 啓発世帯数 現状：2,000世帯 目標：2,000世帯
			健康推進課	基本的な生活習慣と食習慣の確立を図るため「早寝早起き朝ごはん運動」の推進	5	継続	【再掲】 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.1% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.4%（955人） 3歳児健診 99.6%（984人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
		健康推進課	妊娠をきっかけにして、望ましい食生活について、知ることができる	29	継続	母子健康手帳交付時に望ましい生活習慣及び食生活についての情報を提供します。 提供予定者数：900人	母子保健コーディネーターによる個別指導にて情報提供をしました。 提供者数：923人	A	対象者全員に情報提供をしたため。	引き続き対象者全員に情報提供をしていきます。	母子健康手帳交付時に望ましい生活習慣及び食生活についての情報を提供します。 現状：923人 提供予定者数：900人 （過去5年間の平均母子手帳交付数）	
		子育て支援課	離乳食の大切さを知り、離乳食を正しく進めることができる	30	拡大	離乳食講座を通して、離乳食の大切さを知らせるとともに、楽しんで調理できるようなアドバイスを行います。 実施者数 現状：年44人 目標：年60人	離乳食の基本や食べさせ方などを伝える離乳食講座を年4回に加え、ミニ離乳食講座を開催し、支援しました。 参加者数：71人	A	目標数を達成	講座の回数や対象人数を増やし、機会の増加を図ります。	離乳食講座を通し、離乳食の大切さを知らせるとともに、楽しんで調理できるようなアドバイスをを行います。 実施者数 現状：年71人 目標：年80人	
		健康推進課	望ましい食生活の実現と、健康づくりの基礎を身につけるための食育の推進	2	継続	【再掲】 母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：77% 目標：93%	母子保健コーディネーターによる個別指導を実施しました。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 76%（241人）	B	目標の82%を達成	個別指導の内容を平準化し、対象者に必要な情報が伝わるよう努めます。	母子健康手帳交付時に、妊娠・子育て応援ブックを配付し、母子保健コーディネーターによる個別指導を実施します。 離乳食講習時のアンケートで参考になったと回答する人の割合 現状：76% 目標：94%	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題 点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容（指針）										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	③家族との共食の推進	こども保育課	家族との共食の大切さを知り、家庭での食生活に活かす。	31	拡大	市立保育園は園だより、給食だより、食育便り、保育参観、保育参加、個人面談等を通して、家族との共食の大切さを啓発していきます。 啓発回数 現状：12回 目標：17回	市立保育園において、園便り、給食だより、食育だよりを通し、家族との共食の大切さについて、支援しました。 啓発回数：17回	A	目標回数を達成	引き続き園だより等の各種おたよりや保育参観、個人面談等の機会を通して共食の大切さを啓発していく。	市立保育園において、園だより・給食だより・食育だより、保育参観・保育参加・個人面談等を通して、家族との共食の大切さを啓発していきます。 啓発回数 現状：17回 目標：20回
			健康推進課	「食」の楽しさ、食事マナーやあいさつの習慣など、食生活の基礎が習得できるよう推進	5	継続	【再掲】 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.1% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.4%（955人） 3歳児健診 99.6%（984人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(1)家庭における食育の推進	④食を楽しむ機会の提供	こども保育課	行事を通しての食を楽しむ場の提供	32	拡大	市立保育園は季節の行事に合わせた給食を通して、園児に食を楽しむ機会を設けます。 実施回数 現状：年9回 目標：年9回	市立保育園において、季節に合わせた給食や行事食を提供し、園児が食を楽しむ機会を設け、支援しました。 実施回数：14回	A	目標回数を達成	提供する行事食の計画を策定し、実施します。	市立保育園において、計画に基づき行事食や季節に合わせた給食を提供し、園児が食を楽しむ機会となるよう支援します。 目標回数 現状：14回 目標：20回
			健康推進課	望ましい食習慣について学ぶ機会の提供	5	継続	【再掲】 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.1% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.4%（955人） 3歳児健診 99.6%（984人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%
			高齢者福祉課	管理栄養士が対象者宅へ訪問し、個別指導を行い、高齢者の望ましい食習慣づくりを支援	33	継続	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中（3か月程度・計6回）して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を行います。 実施回数 現状：年に4人程度 目標：年に4人程度	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中（3か月程度・計6回）して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を実施。 実施回数：年間4人	A	目標回数を達成	引き続き高齢者の望ましい食習慣づくりを支援します。	高齢者の望ましい食習慣づくりを支援するため、要支援者等1人につき、短期間に集中（3か月程度・計6回）して管理栄養士が個別に栄養改善や指導を行います。 実施回数 現状：年間4人 目標：年間7人程度
				介護予防教室において管理栄養士による栄養指導を行い、高齢者の望ましい食習慣づくりを支援	34	継続	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」（会場：公民館）を開催します。 開催回数 現状：8回（参加者69人） 目標：8回程度（参加者約120人）	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」（会場：公民館）を開催。 開催回数：8回（参加者66人）	B	目標回数は達成したが、参加者数が目標数に満たなかったため。	参加者数を増やすため、講座内容等の見直しをし、内容の充実を図ります。	1回2日間コースで管理栄養士による栄養講座などを行う「食と運動の元気アップ教室」（会場：公民館）を開催します。 開催回数 現状：8回（参加者66名） 目標：8回程度（参加者約80名）
			健康推進課	自発的な介護予防に資する栄養改善・口腔機能の向上などの基本的知識を盛り込んだ介護予防パンフレットを配布し、高齢者のセルフマネジメントを促す	35	継続	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布します。 配布数（配布者数） 現状：年300冊 目標：年300冊	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布。 配布数（配布者数）：年310冊	A	目標配布者数を達成	パンフレットの内容の充実を図ります。	サロンなどの開催時に一般高齢者に対し、介護予防パンフレットをファイルに綴じた介護予防手帳を配布します。 配布数（配布者数） 現状：年310冊 目標：年500冊
				市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	18	継続	【再掲】 広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年3回 目標：年10回以上	広報誌、市公式SNSで食の情報を発信しました。 情報発信回数：年8回	B	目標の80%を達成	年間計画を作成し、情報発信に努めます。	広報誌や市公式SNS等を活用し、健康増進に関する食の情報を掲載します。 発信回数 現状：年8回 目標：年10回以上

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
2 家庭・学校・地域等それぞれに応じた食育の推進	②保育園・認定こども園・幼稚園における食育の推進	①保育園・認定こども園・幼稚園における食育の推進	こども保育課	食育体験の充実	36	拡大	毎年作成される「保育の内容に関する全体的な計画」に定める「食育計画」により、市立各保育園は自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験の充実を図ります。 現状回数：15回 目標：21回	各園「食育計画」を作成し、市立保育園で自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験を実施しました。 実施回数：22回	A	目標回数を達成	引き続き「食育計画」に基づき、野菜の栽培・収穫体験や調理する等の食育体験の充実を図ります。 目標回数：現状：22回 目標：25回	毎年作成される「保育の内容に関する全体的な計画」に定める「食育計画」により、市立各保育園は自ら育てた野菜を収穫したり、調理するなど食育体験の充実を図ります。 目標回数：現状：22回 目標：25回
		②給食の充実		地産地消の食材や伝統食を取り入れた献立の充実	37	拡大	市立各保育園は引き続き、木更津産米を100%使用するとともに、地域に伝わる伝統食を提供する。また、地元産食材を使った給食を提供し、食材について知らせていきます。 提供回数 現状：16回 目標：16回	市立保育園では、木更津産米を100%使用し、地域に伝わる伝統食を提供しました。また、地元産食材を使った給食を提供し、食材について知らせました。 提供回数：16回	A	目標回数を達成	引き続き、地域に伝わる伝統食を提供し、食材について知らせていきます。 提供回数 現状：16回 目標：17回	市立各保育園は引き続き、木更津産米を100%使用するとともに、地域に伝わる伝統食を提供する。また、地元産食材を使った給食を提供し、食材について知らせていきます。 提供回数 現状：16回 目標：17回
		③食を通じた保護者への支援		親子での食育体験を通じた食育に関する啓蒙活動の実施	38	拡大	市立各保育園は、親子での食育体験について、一緒に買い物や栽培、またクッキングなどについて、レシピや作り方の掲示や配信を行い、食育を啓発していきます。 啓発回数 現状：12回 目標：17回	給食だよりの発行とともに、親子でできるクッキングの簡単レシピの発行をしました。 回数：13回	B	目標回数が未達成	親子でクッキングがしなくなる、しやすいレシピの提供や掲示を勧める。	市立各保育園は、家庭で親子で食育体験ができるよう、レシピや地元産食材の情報等を掲示・配信にて提供し、啓発活動を行います。 啓発目標回数：現状：13回 目標：15回
	③学校における食育の推進	①食育の指導体制と指導内容の充実	学校教育課	各小中学校において、計画的な食育の推進	13	拡大	【再掲】各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数：現状：小中学校27校 目標：全小中学校30校	全小中学校が作成・実施しました。 実施校数 全小中学校30校 (全小学校18校) (全中学校12校)	A	目標校数を達成	引き続き、全小中学校で実施します。	各小中学校において各年度ごとに食育の全体指導計画を作成し、計画的に実施します。 実施校数 現状：全小中学校30校 目標：全小中学校30校
			学校給食課	行政・学校・生産者・食品関連事業者等の連携	39	継続	学校と連携し、生産者・協力事業者と地元農畜産物などを使用した特色ある学校給食を実施します。 実施校数 現状：小学校2校(鎌足小、中郷小) 目標：小学校2校(鎌足小、中郷小)	循環型給食や、地域の養豚場の豚肉を料理人とメニュー開発した特色ある学校給食を関係事業者と取り組みました。 実施校数 小学校2校(鎌足小、中郷小)	A	特色ある学校給食を実施しました。	生産者と連携し、循環できる食材を研究するとともに、特色のある学校給食が継続的に実施できるよう関係機関と連携し取り組みます。	学校と連携し、生産者・協力事業者と地元農畜産物などを使用した特色ある学校給食を実施します。 実施校数 現状：小学校2校(鎌足小、中郷小) 目標：小学校2校(鎌足小、中郷小)
			学校給食センター 学校給食課	食に関する指導の全体計画に教育活動と関連付けた給食の計画を明記し、計画的に実施	40	拡大	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。(調理施設数：11施設) 提供施設数 現状：8調理施設 目標：9調理施設	食に関する指導計画の各目標および学年ごとのテーマに合わせ、教育活動と関連付けた給食の提供を行いました。(調理施設数：11施設) 提供施設数：8調理施設	B	学年ごとの食に関する指導内容に合わせて、地場産物の活用や行事にちなんだ食材を使用した給食の提供に努めた。	地場産物や行事にちなんだ給食を活用した授業を実施できるように、食育に関する教材等の作成を充実させる。	食に関する指導計画の各目標および学年ごとのテーマに合わせ、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。(調理施設数：11施設) 提供施設数 現状：8調理施設 目標：9調理施設
	③家庭・地域・学校が連携した食農教育に関する取組の推進	学校教育課	小学校3～6年生の総合的な学習の時間における食農教育の推進	41	継続	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を進めます。 対象校：東清小、中郷小、鎌足小、富来田小 (令和3年度から4校開始)	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を進めました。 対象校：東清小、中郷小、鎌足小、富来田小4校全てで実施することができました。	A	4校全てで実施することができました。	継続して取り組んでいきます。	小規模特認校制度推進事業を活用して、地域と連携した食農教育を進めます。 対象校：東清小、中郷小、鎌足小、富来田小	
			42	拡大	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を進めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：全小学校18校	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を実施しました。 実施校数：小学校15校	B	全体の80%以上の小学校が食農教育を進めています。	実施できなかった学校に、支援策を提案し、次年度の実施に繋げていきます。	学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を進めます。 実施校数 現状：小学校15校 目標：全小学校18校		

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容	
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組 内容（指針）											
2 家庭・ 学校・地域 等それぞれ の役割に応じた食育の 推進	(3)学校における食育の 推進	③家庭・地域・学校が連携した食農教育に関する取組の推進	農業委員会	農業委員会及び地域の農業者が連携・協力して計画及び実施に取り組み、農業体験を通して「食」に対する意識の向上	43	拡大	5月 田植え体験 9月 稲刈り体験 対象 市内小学校 農業体験実施校の増加に努めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：小学校7校	農業体験実施校 東清小学校・南清小学校・岩根小学校・高柳小学校・鎌足小学校・中郷小学校 計6校で実施	B	前年度実施校は引き続き実施できたが、新規実施校は条件的（学校近くに農地がない等）に厳しい状況です。	農業委員・農地利用最適推進委員とより連携し、学校側に働きかけていきます。	5月 田植え体験 9月 稲刈り体験 対象 市内小学校 農業体験実施校の増加に努めます。 実施校数 現状：小学校6校 目標：小学校8校	
		(3)学校における食育の 推進	④教職員の 資質向上	学校教育課	教職員の食育に対する意識高揚と資質の向上	44	継続	教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とする食育に関する研修の受講を推奨します。 推奨回数 現状：年1回 目標：年1回	市として食育に関する研修の場を6回提供し、受講機会の設定を多く行いました。また、学校独自に研修の場を設定している学校も見られました。	A	受講機会を多く設定することで研修への参加を促すことができました。	今年度も研修の機会を提供し、受講を促していきます。	教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とする食育に関する研修の受講を推奨します。 推奨回数 現状：年1回 目標：年1回
					学校給食課、学校給食センターとの連携を図り、保護者への情報提供	45	拡大	給食だよりの発行、学校掲示物・ホームページの充実を図ります。 現状：随時 目標：随時	給食だより・献立表だけでなく、給食写真や献立のねらいについても掲載しています。また、掲示コーナーに体験コーナーを作っている学校も見られました。	A	各学校それぞれの実情に合わせて工夫が見られました。	更なる充実のため、各校の工夫を他校に紹介していきます。	給食だよりの発行、学校掲示物・ホームページの充実を図ります。 現状：随時 目標：随時
			⑤保護者への 情報提供	学校給食課	食育に関する情報の提供	46	拡大	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供します。 提供回数 現状：随時 目標：随時	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供しました。 提供回数：年3回 （全施設共通実施 有機米・みりん）	A	学校栄養士と共有	興味関心のある画像等の情報を提供できるよう、学校関係者と連携して取り組む。	各調理施設が給食だより等により保護者へ情報提供を行うため、農林水産課と連携し生産者等の画像等情報を提供します。 提供回数 現状：随時 目標：随時
	学校給食センター 学校給食課			食に関する旬な情報を提供	47	拡大	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 情報発信回数 現状：年2回以上 目標：年2回以上	旬な話題を給食だより臨時号等で発信しました。 情報発信回数：年2回 （全施設共通実施 のり・新米）	A	テーマに沿った情報を発信	市の取り組む情報を学校と共有するとともに学校給食と関連付けた情報を発信する。	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 情報発信回数 現状：年2回以上 目標：年2回以上	
	(4)地域における食育の 推進	①栄養バランスに優れた日本型食生活の実践の推進	健康推進課	各種栄養指導の場における日本型食生活の実践の推進	5	継続	【再掲】 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.1% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に個別栄養指導を実施しました。 実施率：1.6歳児健診 99.4%（955人） 3歳児健診 99.6%（984人）	B	目標の99%を達成	対象者の帰宅時間等の都合により受けられず目標達成までは至らなかったが、電話でフォローする等、柔軟に対応できる体制をとり、実施していきます。	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に来所者全員に、問診票をもとに個別栄養指導を実施します。 実施率 現状：1.6歳児健診 99.4% 3歳児健診 99.6% 目標：1.6歳児健診 100% 3歳児健診 100%	
				②農林漁業者と食品関連事業者等との連携した食育の推進	農林水産課	市広報誌やSNS等を活用した食育に関する情報の提供	48	新規	食育コンサルジュ（食生活改善サポーター）の活動を通して、広報誌、市公式SNS、公民館での掲示等により情報発信をしていきます。 情報発信回数 目標：年6回以上（健康推進課として）	広報誌、市公式SNSで情報発信をしました。 情報発信回数 年10回（健康推進課分）	A	目標を達成	引き続き継続的に情報発信をしていきます。
		③地域や保健・医療機関等における食育の推進	健康推進課	からだづくりや生活習慣病の発症・重症化予防のため、望ましい食生活についての理解・実践の推進	19	継続	【再掲】 単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率：現状 92.6% 目標 95%以上	若年期健康診査後に、対象者に保健指導を実施しました。 実施率：99.2%（123人）	A	目標を達成	保健指導を受けやすい体制づくりを検討します。	単純肥満および腹囲基準値外の者を対象に、若年期健康診査事後の保健指導を実施します。 実施率 現状：99.2% 目標：95%以上	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
2 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進	(4)地域における食育の推進	④専門的知識を有する人材の養成・活用	農林水産課 健康推進課	食育コンシェルジュ（食生活改善サポーター）の育成・活用	49	新規	食生活改善サポーターを委嘱し、食育推進活動と資質向上のための研修会を実施します。 委嘱：29名 研修会：6回（年間計画に基づく）	食生活改善サポーター全員を対象とした研修会を実施しました。 研修会：5回	B	目標の83%を達成	実施できなかった1回は悪天候によるものであり、引き続き計画に沿って実施し、資質向上に努めます。	食育推進活動と資質向上のための研修会を実施します。 研修会：5回（年間計画に基づく）
		⑤食育的な売り場づくりの検討	農林水産課	小売店への啓発	50	新規	小売店に対し、引き続き「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼します。 啓発店数（累計） 現状：21店 目標：31店	小売店に対し、「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼しました。 啓発店数：30店	B	目標の97%を達成	「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼する。	小売店に対し、引き続き「地産地消推進店認定制度」の周知と合わせ、理解と協力を依頼します。 啓発店数（累計） 現状：30店 目標：40店
		⑥災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発	危機管理課	災害等の非常時に備えることの大切さの普及啓発	51	継続	講演等の市民が集まる際に、災害等の非常時に備えることの大切さを普及啓発します。 啓発回数 現状：市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 目標：市防災訓練：2回 防災フェスタ：1回	災害等の非常時に備えることの大切さの普及啓発に向け、防災訓練で非常食の配布等を実施いたしました。 啓発回数 市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回	C	目標啓発回数が未達成（日程等の都合で実施できず）	より普及啓発に疎めるため、市民参加型の防災研修等での配布の実施を検討する。	講演等の市民が集まる際に、災害等の非常時に備えることの大切さを普及啓発します。 啓発回数 現状：市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 目標：市防災訓練：1回 防災フェスタ：1回 防災研修等：8回
		⑦貧困等の状況にある子どもに対する食育の推進	生活支援課	経済的に困難な家庭に対する食の支援	52	継続	引き続きフードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する支援を必要に応じて随時行います。	フードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する支援を必要に応じて随時行いました。（実施回数等記録なし）	A	必要に応じて食に関する支援を実施することができたため。	引き続き支援を実施致します。	引き続きフードバンク等と連携し、経済的に困難な家庭に対し食に関する支援を必要に応じて随時行います。
		福祉相談課	フードバンクや子ども食堂等の利用や運営等に関する情報の提供	53	継続	引き続き、フードバンク活用に関する情報提供を行うほか、子ども食堂の情報提供にも努めます。 情報提供数 現状：4件 目標：5件	フードバンクについての情報提供：2件 子ども食堂の利用や運営に関する情報提供：8件 【内訳】 ・利用に関すること：3件 ・ひきこもりなどの困難を抱える方等へ、子ども食堂にスタッフとして関わるための情報提供：3件 ・これから運営したいと考えているNPO法人等への情報提供：2件	A	件数が多ければ良いというものではないが、昨年度の実施結果に基づく改善内容が生かされたためAとしました。	特になし。 引き続き情報提供を行います。	（子ども食堂が子育て支援課に移管されたため、）フードバンクについて情報提供を行います。 情報提供 現状：随時 目標：随時	
⑧高齢者等への買物支援	高齢者福祉課	自ら新鮮食料品等を選ぶことができる買い物を通じて食に対する意欲の増進を図るため、移動スーパーの運行・維持への支援の継続	54	継続	民間事業者の移動スーパーが運行・維持できるよう支援します。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動を行うとともに、必要に応じて、高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しに協力します。 月延べ利用者数 現状：1,400人程度 目標：1,400人程度	民間事業者の移動スーパーが運行・維持できるよう支援した。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動を行うとともに、必要に応じて、高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しに協力した。 月延べ利用者数：1,415人	A	目標利用者数を達成	引き続き、移動スーパーの運行及び維持について、支援をする。高齢者の買い物ニーズを把握し、必要な地域で移動スーパーの運行が実施できるよう、協力する。	民間事業者の移動スーパーが運行・維持できるよう支援します。継続して運行ができるよう、実施地域での周知活動を行うとともに、必要に応じて、高齢者の買い物ニーズに合わせた運行ルートの見直しに協力します。 月延べ利用者数 現状：1,415人 目標：1,500人程度		
3 食の安全・安心の確保	安全・安心な食の情報提供	①生産記録の記帳の推進	農林水産課	生産記録の記帳推進	55	新規	農協等と連携のうえ、生産団体の会議等を活用し生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発を実施します。 啓発回数 現状：年7回 目標：年7回	農協と連携し、生産団体の会議等を活用し生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発を実施しました。 啓発回数：年7回	A	目標回数達成	農協等と連携し、生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発に取り組みます。	農協等と連携のうえ、生産団体の会議等を活用し生産記録（防除日誌）の記帳に向けた生産者への啓発を実施します。 啓発回数 現状：年7回 目標：年7回

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取組み内容（指針）										
3 食の安全・安心の確保	安全・安心な食の情報提供	②生涯学習を活用した食の安全・安心の啓発	生涯学習課 公民館	市民が安全・安心な食品を選択することができるよう啓発	21	拡大	【再掲】 青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、さらに啓発に努めます。 講座開催数 現状：27回（参加者数423人） 目標：30回（参加者約450人）	青少年対象「料理教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」等、手作りの大切さを学ぶ講座を開催することができました。 実施回数：17回（参加者数：205人）	C	各公民館において、啓発を実施することはできましたが、目標回数には届きませんでした。	各公民館で地域と相談しながら、必要に応じて料理教室等を実施するよう努めます。	青少年対象「クッキング教室」、成人対象「料理教室」、家庭教育学級の「味噌づくり教室」、発酵食を考える講座等、各公民館で手作りの大切さを学ぶ講座を開催し、さらに啓発に努めます。 講座開催数 現状：17回（参加者205人） 目標：30回（参加者約450人）
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	①地域農林水産業の振興	農林水産課	地元産農水産物の普及のため、関係団体、農水産業者と連携し、生産拡大と品質の向上	56	拡大	生産力強化のために認定農業者等が導入する機械施設等に対し、経費の一部を補助し、園芸産地の育成を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：5経営体（法人3、個人2） 目標：10経営体	中国産花粉の使用が停止されたことにより、梨受粉用花粉の自家採取を確立するため、薬採取機や花粉精選機導入に係る経費の補助を実施しました。 補助経営体数：4経営体（法人1、個人3）	B	事業活用者数が未達成	補助事業を活用する農業者が増えるよう担い手への継続的な支援と共に、補助事業の周知を図ります。	生産力強化のために認定農業者等が導入する機械施設等に対し、経費の一部を補助し、園芸産地の育成を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：9経営体（法人4、個人5） 目標：10経営体
					57	拡大	露地野菜等の生産力強化のため、農業者が耕作放棄地を再生し、生産出荷に必要な機械等に対し、経費の一部を補助し、耕作放棄地の再生を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：3経営体（個人3） 目標：5経営体（個人5）	事業実施希望者を募集しましたが応募者がなく、実施しませんでした。	C	事業活用者数が未達成	補助事業を活用する農業者が増えるよう担い手への継続的な支援と共に、補助事業の周知を図ります。	露地野菜等の生産力強化のため、農業者が耕作放棄地を再生し、生産出荷に必要な機械等に対し、経費の一部を補助し、耕作放棄地の再生を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：3経営体（個人3） 目標：4経営体（個人4）
					58	拡大	耕作放棄地を再生し、生産規模拡大をめざす農業者等に対し、再生作業に要する経費を支援することで、耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：3経営体（個人3） 目標：6経営体	事業実施希望者を募集しましたが応募者がなく、実施しませんでした。	C	事業活用者数が未達成	補助事業を活用する農業者が増えるよう担い手への継続的な支援と共に、補助事業の周知を図ります。	耕作放棄地を再生し、生産規模拡大をめざす農業者等に対し、再生作業に要する経費を支援することで、耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保を図ります。 補助経営体数（累計） 現状：3経営体（個人3） 目標：5経営体
					59	拡大	垂下式のカキカゴ養殖について、市内漁協に対し事業規模拡大を支援します。 目標：令和5年度 カキ養殖の漁業権取得に向け支援を行います。	事業規模拡大のため、垂下式のカキ養殖に必要なカキ養殖施設（カキ籠等）に係る経費の一部を補助しました。 また、令和5年度にカキ養殖の漁業権を取得しました。 カキ籠：180個（経費の一部を補助） カキの出荷量：340.2kg	A	試験販売期間の終了、漁業権の取得を経て、安定した生産体制の確保のための調整を行った。	引き続き、生産体制の確保、事業拡大のための資材等の経費の一部を支援していきます。	垂下式のカキカゴ養殖に対して資材等経費の支援により、継続した生産体制の確保、事業拡大のための支援を行います。 カキの出荷量 現状：340.2kg 目標：4,600kg
					60	拡大	ノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害被害防止のため、市内2漁協が実施する事業を支援します。 1戸あたりの年間ノリ生産量 現状：33万枚 目標：36万枚	魚類等からのノリ食害防止のための事業である、防除ネットの設置に関する資材等経費の支援を実施しました。 防除ネット：11,060m（経費の一部補助） 1戸あたりの年間ノリ生産量：33万枚	B	1戸あたりの年間ノリ生産量の目標枚数が未達成	引き続き、漁協が取組んでいるノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害防止について支援を行ってまいります。	ノリ生産枚数減少の一因となっている魚類等の食害被害防止のため、市内2漁協が実施する事業を支援します。 1戸あたりの年間ノリ生産量 現状：33万枚 目標：34万枚
					61	拡大	市内2漁協が行う、本市の水産業（アサリ）を振興していくための事業を支援します。 アサリの年間水揚げ量 現状：56t 目標：100t	市内2漁協が行う、アサリの生産振興のための事業支援を行いました。 アサリの年間水揚げ量：167t	A	アサリの年間水揚げ量の目標を達成	引き続き、漁協が取組んでいるアサリ育成のための稚貝の越冬、食害防止対策の支援を行ってまいります。	市内2漁協が行う、本市の水産業（アサリ）を振興していくための事業を支援します。 アサリの年間水揚げ量 現状：167t 目標：134t

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況(R5)	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み 内容(指針)										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	②給食を活用した地産地消の推進	こども保育課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	62	拡大	市立各保育園は、引き続き、毎月19日の食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介するとともに保護者へ掲示等で知らせていきます。 地元産食材を取り入れ、給食とともに紹介した回数 現状：年14回 目標：年16回	毎月食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介するとともに保護者へ掲示等を行いました。 地元産食材を取り入れ、給食とともに紹介した回数：14回	B	目標回数を未達成。 地元産農産物の購入ルートの確保が課題	地元産農産物を納入可能な食材業者を探します。	毎月19日の食育の日を中心に、地元産食材を取り入れた給食を提供し、園児に紹介します。保護者には掲示や配信等で知らせていきます。 目標回数 現状：14回 目標：15回
			学校給食課	学校給食提供食材の地場産物の利用促進	63	拡大	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、使用品目を増やせるよう関係者に理解と協力を依頼します。 使用品目数 現状 4品目 (キャベツ・大根・人参・白菜) 目標 5品目 (キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ)	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、使用品目を増やせるよう関係者に協力を依頼し、学校での取組等共有しました。 使用品目数 5品目 (キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ)	A	目標使用品目数を達成	協力関係者と協議、連携し、近在野菜の安定的な量の確保、使用に取り組み	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取り組みで、収穫量の確保で使用量とのバランスが安定するように関係者に理解と協力を依頼します。 使用品目数 現状 5品目 (キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ) 目標 6品目 (キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ・ほうれん草)
			学校給食センター 学校給食課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	14	継続	【再掲】 地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：71.1% 目標：85%以上	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信しました。 地元生産食材使用率：74.2%	B	天候等により予定していた産地の食材が納品できないこともあったが、各施設ごとに地産地消に取り組んだ。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組む。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：74.2% 目標：85%以上
				地元生産物の情報発信による啓発	64	継続	学校栄養士等が生産者を取材し、給食だより等で情報を発信します。 取材した生産者数(累計) 現状：4経営体 目標：5経営体	学校栄養士等が生産者や生産者の畑等を取材し、給食だより等で情報を発信しました。 取材した生産者数(累計)：5経営体	A	顔の見える地産地消給食の実施	市の取り組み情報を学校と共有するとともに学校給食と関連付けた情報を発信する。	学校栄養士等が生産者を取材し、給食だより等で情報を発信します。 取材した生産者数(累計) 現状：5経営体 目標：5経営体
			学校給食課	給食施設の整備	65	新規	安全安心な学校給食の提供のため、地域の農林水産物食材(農業関係機関と連携)を優先的に取り入れた手作り給食を基本とする給食施設の構想を作成します。 (対象：10施設)	給食施設の構想作成に向け、候補地の検討を行いました。	C	候補地やスケジュールに課題があり、構想の作成には至らなかった。	関係者と連携を図り構想の作成を進めます。	安全安心な学校給食の提供のため、地域の農林水産物食材(農業関係機関と連携)を優先的に取り入れた手作り給食を基本とする給食施設の構想を作成します。
			農林水産課	学校給食に向けた有機米栽培の拡大	66	拡大	市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培を行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産面積 現状：20ha 目標：25ha	有機米の生産促進・拡大に向け、外部講師による講習会の開催やほ場巡回等を実施し、農業者の取り組みを支援しました。 有機米生産面積 実績：26ha	A	引き続き、本取組をPRし、協力生産者を増やす必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培を行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産面積 現状：26ha 目標：33ha
				学校給食提供食材の地場産物の利用促進	67	新規	生産者団体等と連携し補助制度の周知を図り、協力者の増加に取り組めます。 協力農業者：現状：3人 目標：10人	学校給食の地産地消を推進するため、市内産野菜等の食材を生産・配送する農業者に対し補助を実施しました。 協力農業者数 実績：5人	C	引き続き、本取組をPRし、協力生産者を増やす必要があります。	学校給食の地産地消促進への理解を図り、協力生産者の増加を目指します。	生産者団体等と連携し、協力者の増加に取り組めます。 協力農業者：現状：5人 目標：10人

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(1)地産地消の推進	③地産地消の普及啓発	農林水産課	地元農林水産物を購入しやすい店舗の増加と周知	68	新規	市HPや商工会議所等と連携し認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組みます。 推進店数 現状：16店 目標：21店	地元農林水産物を取扱う店(小売店・飲食店)を「地産地消推進店」として認定。目印となるのぼり旗・ステッカーを貸与し、市HP等で市民に周知を図った。 推進店数：30店	A	目標推進店数を達成	認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組みます。	市HPや商工会議所等と連携し認定制度の周知を図り、認定店の増加に取り組みます。 推進店数 現状：30店 目標：40店
			農林水産課	地産地消の啓発	69	新規	関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を、広報誌・市公式HP等で啓発を実施します。 啓発頻度： 現状：毎月1回 目標：毎月1回	関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を広報誌・市公式HP等での啓発を実施しました。 啓発頻度：毎月1回	A	目標啓発頻度を達成	関係課と連携を図り、啓発に取り組みます。	・関係課と連携し、レシピを付けた旬な地元農林水産物を、広報誌・市公式HP等で啓発を実施します。 ・地元産農林水産物を使用した料理レシピコンテストを実施し、地場産農林水産物の啓発を行います。 ・地元産農林水産物を使用した親子クッキング教室を開催し、地元産農林水産物の啓発を行います。 広報誌・市公式HP等での啓発頻度 現状：毎月1回 目標：毎月1回
			環境政策課	地元生産品の地域内消費の促進	15	拡大	【再掲】 様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率：現状 70% 目標 78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認	夏休みの期間を活用し、市立小学5年生全員にエコノートの配布し、地産地消の推進を図りました。 取組率：60%	C	現状の取組率よりも低い結果となりました。エコノートの取組については学校や先生毎の指導の影響により取り組みへの関心度が大きく異なります。	環境政策課より、学校側へ関心度を大きくしてもらえようとするような案内等の働きかけを行っていきます。	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、関心度が高くなるような働きかけを行っていきます。 取組率：現状 60% 目標 84%
			農林水産課	生産者と消費者の交流を促進	71	拡大	既存イベントへの生産者参加促進と庁内各課にイベント告知チラシに食育のキャッチフレーズを入れる等依頼し啓発を実施します。 実施イベント数 現状：1回 目標：2回	既存イベントへの生産者参加促進は実施できたものの、新型コロナウイルス感染症により庁内でのイベントの多くが未実施であったため、啓発は実施できませんでした。 実施イベント数：2回	A	目標を達成	イベントが再開される見込みであることから、啓発の実施に取り組みます。	既存イベントへの生産者参加促進と庁内各課にイベント告知チラシに食育のキャッチフレーズを入れる等依頼し啓発を実施します。 実施イベント数 現状：2回 目標：2回
	(2)生産者と消費者の交流促進	②生産者と保育園、学校等との交流の推進	こども保育課	生産者の畑での収穫体験の実施	72	新規	市立保育園（2園）は、保育計画の中に新たに生産者との交流の機会を掲げ、協力生産者との連携を図り、栽培している野菜について興味関心をもつ機会を持ち、生産者との交流を図ります。	生産者との交流はできませんでしたが、保育園の園庭で米や野菜の栽培を行い、給食で提供しました。また、卸売市場やほ場の見学などを行った。	B	生産者との交流はできなかったが、その他8割以上の実施ができたので、B評価としました。生産者の確保が課題	交流可能な生産者を探します。	市立保育園（2園）は、保育計画の中に新たに生産者との交流の機会を掲げ、協力生産者との連携を図り、栽培している野菜について興味関心をもつ機会を持ち、生産者との交流を図ります。 交流回数：現状 0回 目標 1回
			学校給食課 農林水産課	生産者等と学校の交流促進	73	継続	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校：現状：小学校1校 目標：小学校1校	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米、木更津産豚肉の給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施しました。 実施校：小学校2校	A	目標実施校を達成	給食試食会を通して交流の機会となるよう取り組みます。	生産者の顔が見える学校給食実現のため、有機米を初めとする給食食材提供の生産者等と学校の給食試食会を実施します。 実施校：現状：小学校2校 目標：小学校1校

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
	(2)生産者と消費者の交流促進	②生産者と保育園、学校等との交流の推進	学校給食センター 学校給食課	生産者と学校の交流のサポート	74	継続	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を教職員に提供し、食育での活用に努めます。 情報提供回数：現状：随時 目標：随時	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を栄養士と教職員で共有し、給食時間の食育の活用に努めました。 情報提供回数：年5回以上 (全施設共通実施 近在野菜)	A	給食を食育に活用	食育に活用できる資料を提供する。	各調理施設において給食で使用した食材や生産者等の情報を教職員に提供し、食育での活用に努めます。 情報提供回数：現状：随時 目標：随時
		③農水産業体験のPR・利用の促進		農水産業体験のPR・利用の促進	75	新規	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施するとともに、体験農業実施に向け農業者の意向調査等により課題を整理します。	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施しました。体験農業実施に向けた農業者の意向調査を実施しました。 対象施設：24施設	A	目標を達成	新型コロナウイルス感染症の影響が少なく、利用増が見込めることから、PR等に取り組みます。	観光振興課・観光協会と連携し、観光ガイドブック等で施設・利用促進のPRを実施するとともに、体験農業実施に向け農業者の意向調査の結果を整理し、支援方法を検討します。
(3)環境に配慮した食生活の推進	①有機農業・環境保全型農業の推進	農林水産課	都市と農村の交流促進	都市と農村の交流促進	76	継続	市内外の都市住民を対象に、農山漁村滞在型旅行（農泊）を年1回実施し、都市と農村の交流を促進します。 実施回数 現状：0回 目標：1回	市内外の都市住民を対象に、農山漁村滞在型旅行（農泊）を計画し、参加者を募集したが応募者がおらず実施できませんでした。	C	目標未達成	実施時期・内容等を検討します。	・市内外の都市住民を対象に、農山漁村滞在型旅行（農泊）を年1回実施し、都市と農村の交流を促進します。 ・農業、食への理解を深めるため、親子での農作業体験会を春と秋に3回実施します。 実施回数：現状：0回 目標：4回
				市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培を行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産農家数 現状：14経営体 目標：20経営体	有機米の生産促進・拡大に向け、外部講師による講習会を開催し、有機米稲栽培への理解増進に努めました。 有機米生産農家数 実績：16経営体	B	継続的に有機米生産農家数を増加させるためには、生産者の有機農業への理解を深めていく必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培に取り組んでいる方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機米生産農家数；現状：16経営体 目標：21経営体			
				県等と情報を共有し、情報発信等に努め、環境保全型農業の推進に努めます。 取り組み農家数（累計） 現状：8経営体 目標：10経営体	地球温暖化防止や生物多様性の保全等に効果の高い営農活動に取り組んでいる農業者に対し支援しました。 取り組み農家数（累計） 実績：8経営体	B	新たな経営体は増やせませんが、引き続き、環境保全型農業を普及させるための支援を行ってきます。	有機米稲栽培者を加えた農業者に県等と情報を共有し、情報発信等に努め、環境保全型農業の推進に努めます。	県等と情報を共有し、情報発信等に努め、環境保全型農業の推進に努めます。 取り組み農家数（累計） 現状：8経営体 目標：30経営体			
			市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培・有機野菜先進的に行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 現状：16経営体 目標：18経営体	新規に2件の有機JAS認証を取得した生産者の支援を行いました。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 実績：18経営体	A	有機米JAS取得者を増加させるためには、生産者の有機農業への理解を深めていく必要があります。	有機農業への理解増進を図り、協力生産者の増加を目指します。	市内農業者を対象に、先進的に有機米稲栽培・有機野菜先進的に行っている方を講師に迎え、講習会を開催し有機農業への理解増進を行います。 有機JAS認証取得経営体数（累計） 現状：18経営体 目標：20経営体				

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に基づく改善内容	令和6年度取組内容
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）										
4 持続可能な食を支える食育の推進	(3)環境に配慮した食生活の推進	②食品ロス等の削減に向けた取り組みと啓発	資源循環推進課	市民全員が食品ロス問題を深刻に捉え、3Rに取り組み社会へ	80	継続	食品ロスを含めた3Rの広報啓発を広報ささらづ、市公式SNS等で随時啓発を行います。 啓発回数：現状：随時 目標：随時	広報ささらづで食品ロスや3Rについての内容を掲載し啓発を実施しました。 掲載実績：1回（R5.12月号）	A	継続した広報活動が実施できたため。	忘年会・新年会のシーズンのスポット的な周知を実施していたが、今後、SNSでの発信を中心に、定期的な発信を実施していく。	食品ロスを含めた3Rの広報啓発を広報ささらづ、市公式SNS等で随時啓発を行います。 啓発回数 現状：随時 目標：随時
					81	拡大	学校や自治会にむけた出前講座・学習会を随時行います。 実施回数：現状：年2回 目標：年4回	学校への出前授業を始め、廃棄物中間処理許可業者による工場見学、協力企業による授業等を実施しました。 実施回数：4回	A	目標を達成	引き続き、出前講座・学習会を実施します。	学校や自治会にむけた出前講座・学習会を随時行います。 実施回数 現状：年4回 目標：年4回
					82	拡大	商工会議所会報「商工ささらづ」で企業に向けた食品ロス削減の啓発を行います。 啓発回数：現状：年2回 目標：年2回	令和5年度においては、掲載を行うことができませんでした。	C	掲載料の予算措置が行えなかったため、なお、令和6年度においては予算措置済みのため、計画通りの掲載を予定。	商工会議所会報での啓発を行います。	商工会議所会報「商工ささらづ」で企業に向けた食品ロス削減の啓発を行います。 啓発回数：現状：0回 目標：年2回
					83	継続	市内保育園等の給食残渣を堆肥化し、市民に無料配布を行います。 年間配布総量 現状：約1,000kg 目標：約2,400kg	年間配布総量：950kg	C	堆肥化に使用する機械式処理機の一部故障により、製造する堆肥の数が制限されており、目標より下回ったため。	機械式処理機の機能回復を図り、配布を続けます。	市内保育園等の給食残渣を堆肥化し、市民に無料配布を行います。 R6年度は機械のメンテナンスと併せ、機能の回復を委託業務において実施するよう協議予定。（R5年度にこれまで担当したサポート業者が自己破綻により撤退。同サービスの業者を選定中）
					84	拡大	生ごみ肥料化容器等の購入に助成金を交付し、家庭生ごみの肥料化を進めます。 制度の申請手引きを作成します。 申請基数 現状：49基 目標：80基	家庭における生ごみの資源化を進め、焼却処分されるごみの減量化を促進するため、生ごみ肥料化容器等の購入に対する助成を行いました。 また、制度の申請手引きについては、作成することができませんでした。 申請件数：49基	C	広報やホームページでの周知を行いました。また、目標値を下回ったため。	引き続き、生ごみの減量化や資源の循環に関する啓発とともに助成金に関する周知を実施します。	生ごみ肥料化容器等の購入に助成金を交付し、家庭生ごみの肥料化を進めます。 制度の申請手引きを作成します。 申請基数 現状：49基 目標：80基
					85	拡大	食品ロス等の削減に向けたフードドライブについて、広報啓発を強化し、年間寄付者の増加を図ります。 年間寄付者数 現状：16人 目標：25人	年間寄付者数：4人	C	目標値を下回ったため。市においては、これまでイベント等において寄付申出が減少したことが要因と考えられる。今後、寄付者増加に向けた周知を強化	引き続き、広報活動やイベント等での寄付受付等実施してまいります。	食品ロス等の削減に向けたフードドライブについて、広報啓発を強化し、年間寄付者の増加を図ります。 年間寄付者数 現状：4人 目標：25人
	(3)環境に配慮した食育の推進	環境政策課	フードマイレージや食品ロスは地球温暖化問題の一因であるとともに、経済的な問題でもあるため、それらの削減を図る	15	拡大	【再掲】 様々な世代の地球温暖化対策への意識向上を図るため、小学5年生全員に環境教育の副読本「エコノート」を配布し、夏休み等の長期休暇の課題として各家庭で取り組んでもらい、地球温暖化対策の一つである地産地消の推進を図ります。 取組率：現状 70% 目標 78% ※エコノートをきっかけとした環境への取組をアンケート調査で確認	夏休みの期間を活用し、市立小学5年生全員にエコノートの配布し、地産地消の推進を図りました。 取組率：60%	C	現状の取組率よりも低い結果となりました。エコノートの取組については学校や先生毎の指導の影響により取り組みへの関心度が大きく異なります。	環境政策課より、学校側へ関心度を大きくしてもらえようとする案内等の働きかけを行ってまいります。	引き続き、地産地消の推進を行うためエコノートの配布を行うとともに、関心度が高くなるような働きかけを行ってまいります。 取組率：現状 60% 目標 78%	

木更津市食育推進計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	一次評価	一次評価の理由 取組上の課題・問題点・改善等	令和5年度実施結果に基づく改善内容	令和6年度取組内容	
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容（指針）											
4 持続可能な食を支える食育の推進	(3)環境に配慮した食生活の推進	④有効利用による持続可能な生産と消費	農林水産課	規格外農林水産物の地産地消推進協力店等での扱い量の増加	86	新規	廃棄されてしまう規格外地元産農水産物を有効利用するため、地産地消推進店と生産者を繋ぎ、取扱量増加を目指します。 実施回数 目標：1店舗	粒が小さく出荷できない木更津産米を使用したバームクーヘン「おこめのぼーむ」を、道の駅木更津まぐたの里（地産地消推進店）で製造販売した。 実施店：1店	A	目標店数を達成	増加している地産地消推進店への意向確認を実施し、供給のシステム化に取り組みます。	廃棄されてしまう規格外地元産農水産物を有効利用するため、地産地消推進店と生産者を繋ぎ、取扱量増加を目指します。地産地消推進店・生産者への意向確認調査を実施します。実施店 目標：1店	
			①保育園・学校給食献立の活用	こども保育課	年間を通じた伝統食や行事食の実施	87	拡大	市立各保育園は年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を給食およびおやつに提供したことを知らせます。 提供回数 実施：年17回 目標：年23回	食育計画に基づき、行事食・季節の食事を給食やおやつでの提供をしました。 提供回数：年26回	A	目標回数を達成	引き続き、年間計画に基づき行事食・季節の食事を提供します。	市立各保育園は年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を給食およびおやつに提供したことを知らせます。 提供回数 現状：年26回 目標：年27回
				学校給食センター 学校給食課		88	継続	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供します。提供した際は、料理の紹介をします。 提供回数 現状：年11回 目標：年11回	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供しました。 提供回数：11回	A	計画的な提供回数を達成	旬の食材や季節感のある給食を通じた献立を計画する。	年間計画に位置付け、行事食・季節の食事を計画的に提供します。提供した際は、料理の紹介をします。 提供回数 現状：年11回 目標：年11回
	(4)食文化の継承活動の推進	②地域での取り組み	農林水産課	地域の伝統的な食文化の普及啓発	89	新規	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に年5回以上実施します。 現状：5回 目標：5回以上実施	太巻き寿司講習会を、市内小・中・高校および公民館にて実施しました。 実施回数：8回	A	目標回数を達成	学校や公民館からの依頼の他、市民を対象とした講習会の開催を検討する。	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に年8回以上実施します。 現状：8回 目標：8回以上	
			生涯学習課 公民館	地域の伝統的な和食文化の継承、普及啓発	90	拡大	幅広い世代を対象に海苔すき体験、アサリやノリなど特産物を使用した料理教室、和食に拘った料理教室、太巻き寿司作り講習会などを開催します。 また、文化祭では太巻き寿司の展示など、積極的な普及啓発に努めます。 実施回数 現状：2回 目標：5回	海苔すき体験や太巻き寿司づくり講習会を開催することができました。 実施回数：2回	C	地域の伝統を知る体験や、太巻き寿司づくり講習会を実施することはできましたが、目標回数には届きませんでした。	各公民館で、地域と相談しながら、必要に応じて講習会等の開催に努めます。	幅広い世代を対象に海苔すき体験、アサリやノリなど特産物を使用した料理教室、和食に拘った料理教室、太巻き寿司作り講習会などを開催します。 また、文化祭では太巻き寿司の展示など、積極的な普及啓発に努めます。 実施回数 現状：2回 目標：5回	
				広く市民への情報提供	24	拡大	【再掲】市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数：現状 年1回 目標 年1回以上	2つの公民館において、公民館だより等に地産地消の料理メニューについての掲載を行いました。 情報発信回数：年9回	C	市内全ての公民館での情報提供はできませんでしたが、十分な情報発信ができました。 【評価修正】2公民館のみの実施であるため、A⇒Cへ変更	市内全ての公民館で、郷土料理等に親しみかかっているような情報提供ができるように努めます。	市内全ての公民館で、公民館だより等に郷土料理の特集を組むなど積極的に掲載するとともに、文化祭では伝統食や和食、郷土料理に関する展示コーナーを設け、情報提供に努めます。 情報発信回数：目標 年1回以上	
			③伝統食や和食・郷土料理に関する情報提供	こども保育課	伝統食・行事食等の展示及情報提供の実施	91	拡大	市立各保育園は引き続き、食育計画に基づき、伝統食や行事食を提供した際に、保護者へ給食展示やレシピ等の情報提供を実施します。 情報提供回数 現状：年13回 目標：年23回	食育計画に基づき、行事食・季節の食事を給食やおやつで提供し、給食展示等を行いました。 情報提供回数：年26回	A	目標回数を達成	伝統的な食事と行事食は重なることも多いため、展示の際に、掲示や配信を活用して情報提供を行います。	市立各保育園は引き続き、食育計画に基づき、伝統食や行事食を提供した際に、保護者へ給食展示やレシピ等の情報提供を実施します。 情報提供回数 現状：年26回 目標：年27回

木更津市食育推進アクションプラン進行管理票  
(令和5年度)  
(協議会委員団体)

木更津市食育計画のキャッチフレーズ  
～いきる つながる 食育のチカラ～

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 大一青果㈱

協議会委員名 碓井 宏

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
持続可能な食を支える	新規就農者等の生産力強化のため支援する	継続	木更津市内の農家をサポートする。	生産者2名について、継続中。	B	サポートを継続しているが、具体的な生産拡大に至らず。	主力品目について、販売方法を検討し、提案する。	実質的な生産拡大へのサポートを充実させる。
地産地消の推進	地元生産物の情報発信のサポート	継続	市場視察や農場視察への協力を行う。 現状：随時 目標：随時	栄養士の市場見学、ほ場見学、生産者へのインタビュー等の協力を行った。	A	依頼に基づき協力を実施した。	引き続き協力していく	市場視察や農場視察への協力を行う。 現状：随時 目標：随時
	近在野菜を使用する取り組み	拡大	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施します。生産者に協力を依頼します。 現状：1回 目標：1回	大根（池田さん）、人参（緒形さん）、キャベツ（本多さん）、長ネギ（地曳さん）、白菜（秋葉さん）の生産者（5名）に協力を依頼した。	A	目標を達成	引き続き協力していく	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施します。生産者に協力を依頼します。 現状：1回 目標：1回
	小学生等の市場見学受入れ	拡大	小学生等の市場見学を受け入れ、市場の役割、近在野菜の生産等への理解を深めます。 現状：2校（団体） 目標：2校（団体）以上	小学校1校（八幡台小）、公民館（文京）1館の市場見学を受け入れました。	A	目標を達成	小学校の見学受入れを拡大したい。	小学生等の市場見学を受け入れ、市場の役割、近在野菜の生産等への理解を深めます。 現状：2校（団体） 目標：2校（団体）以上
学校における給食の推進	学校給食センターとの連携を図り、生産者等の情報提供依頼	新規	生産者へ協力を依頼し、給食だよりへの情報を提供します。 現状：随時 目標：随時	全校学校給食週間に協力いただいた生産者（5名）との情報共有を行いました。	A	目標を達成（品目により袖ヶ浦市生産者も含まれる）	引き続き協力していく	生産者へ協力を依頼し、給食だよりへの情報を提供します。 現状：随時 目標：随時

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 株式会社木更津魚市場

協議会委員名 石井 美夏

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
小中学生に食の流通に興味を持って頂き食育の推進を図りたい	市場見学をしていたが、魚市場としての役割を認知してもらい取り扱う地域海産物や食材等の食育に努めます	継続	市場見学を通して魚市場役割を知って頂き興味を持ってもらう。地域で捕れる魚などを独自の資料をもとにわかりやすく説明し食育に努めます。	魚市場の1日の流れや仕組み、地域で捕れる魚などを独自の資料をもとに小学生、保育園児でもわかりやすく説明をしました。  ●金田小学校児童68名 ●桜井保育園55名	A	目標達成 今までは小学生が多かったので、今後は園児にも分かりやすく説明できるように資料を用意したい。	幅広い年齢層に働きかけ、市場の役割や仕組みをより一層知って頂き、食の流通をきっかけに魚に興味を持って頂けるように取り組む。	市場見学を通して魚市場の役割を知って頂き興味を持ってもらう。地域海産物などを自社の資料をもとに分かりやすく説明し、食育に努めます。市場見学の情報を積極的に発信。  現状 2校 目標 3校以上
地産地消を推進し、地域海産物に関する情報を提供し、興味を持って頂く	近隣の市内公共施設で地域海産物を活用した料理教室	継続	料理教室を通して魚市場役割を知って頂き興味を持ってもらう。旬の地域食材等の情報提供食育に努めます。	おさかなマイスターからレクチャーを受け、旬のアジでたたきを作りました。料理を通して地域で楽しく魚に興味を持って頂く事が出来ました。  ●1回実施（中郷公民館13名）	C	目標未達成 中央公民館の館長会議に参加して活動の周知を図り募集を試みましたが、思うように進みませんでした。	参加して頂ける公民館にご協力をお願いしたい。	料理教室を通して魚市場の役割を知って頂き興味を持ってもらう。旬の地域海産物の情報を提供し、食育に努めます。料理教室の情報を積極的に発信。  現状 1回 目標 2回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 木更津市農業協同組合

協議会委員名 鈴木 正則

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
地産地消の推進	施設見学受入れ （集荷場） （予冷施設）	継続	小学校（中郷小）を対象に、集荷場・予冷施設の見学を受け入れ、農業への理解を図る  現状： 1校 目標： 1校	中郷小学校を対象に事務所、倉庫、集荷場、予冷施設等の見学を受け入れ、農業への理解を図った。  実施1回	A	予定通り受け入れし、農業への理解を図ることができた。	今後も継続して受け入れるをする	小学校（中郷小）を対象に、集荷場・予冷施設の見学を受け入れ、農業への理解を図る  現状 1校 目標 1校
	講師の派遣 （栽培講習会）	継続	夏野菜苗即売会時に来場者を対象とする夏野菜栽培講習会を開催し、地元農業への理解を図る  現状： 0回 目標： 1回	夏野菜苗即売会時に夏野菜栽培講習会を開催した。  実施1回	A	講習会を開催することにより、一般のかたにも農業への理解が深められた。	今後も継続して実施する	夏野菜苗即売会時に来場者を対象とする夏野菜栽培講習会を開催し、地元農業への理解を図る  現状： 1回 目標： 1回
	料理教室の開催	継続	JA組合員等を対象としたJA女性部主催の地元農産物を活用した料理教室を開催する。定員15名  現状： 2回 目標： 4回	JA女性部主催の地元農産物を活用した料理教室を開催した。  実施4回	A	参加者60名により盛況であった。	チラシの活用により参加者の増加を図る。	JA組合員等を対象としたJA女性部主催の地元農産物を活用した料理教室を開催する。  現状： 4回 目標： 4回

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 (株) ごはんクリエイト

協議会委員名 野口 利一

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
地産地消の推進	市内飲食店での取組みとして年度毎に目標を決め取り組む	新規	木更津産の食材を市内飲食店に周知する。  現状：木更津版クラムチャウダーのレシピや食材ルート含めルール作成済み 目標：市内各店と共有し、5店舗以上の参加を募る	市内各店と共有できたが、廃業があり実施には至らなかった。 あさりの不漁。	C	参加店を再度精査する。 冷凍品の活用	自社でまず行い、SNSを活用して周知する。	4月から木更津版クラムチャウダーの販売開始。 フェアを5月に開催します。

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 君津木更津医師会

協議会委員名 天野 隆臣

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
地元小中学校に向けた食育の推進	学校医活動を通じ食育を推進していく	新規	学校医、学校職員、保護者の集まりを通じ必ず朝食をとり、登校することを周知していく。  現状：なし 目標：会員への周知	学校医、学校職員、保護者の集まりを通じ必ず朝食をとり、登校することを周知する取組ができた。	B		継続的に取り組む	学校医、学校職員、保護者の集まりを通じ必ず朝食をとり、登校することを周知していく。  現状：会員への周知 目標：会員への周知

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 君津保健所管内栄養士協議会

協議会委員名 石原 和嘉子

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
栄養バランスに優れた食生活実践の推進	会員の資質向上を目的とした研修会の開催	継続	対象者への効果的な栄養指導の実施や食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会を開催します。  現状：年2回 目標：年3回	対象者への効果的な栄養指導の実施と食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会（外部講師による講演会等）を開催しました。 研修会開催回数：年3回	A	研修会開催回数の達成	研修会の開催回数を増やします。	対象者への効果的な栄養指導の実施や食育の推進を図るため、当団体会員の資質向上を目的とした研修会を開催します。  現状：年3回 目標：年3回
	地場産物を使用した栄養バランスの良い料理レシピの紹介	新規	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置します。  現状：なし 目標：年2回	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置しました。 配置回数：年2回	A	リーフ配置回数の達成	地域住民の目に留まるよう配置方法等の工夫を行います。	地場産物を使用した料理レシピと栄養成分を載せたリーフを作成し、農協直売所等に配置します。  現状：年2回 目標：年2回

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 木更津市教育研究会・学校給食部会

協議会委員名 高柳小学校 木村高士

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
各小中学校における計画的な食育の推進	食育の指導体制と指導内容の充実	継続	各小中学校において、食育の全体指導の作成と見直しを行い計画的に実施する。 現状：小中27校 目標：全小中30校	全ての小中学校において食育の指導計画作成と見直しをすることができている。	A	全小中学校が達成	全小中学校において家庭・地域の実態にあった食育の指導内容を検討していく。	各小中学校において、食育の全体指導の作成と見直しを行い計画的に実施する。 現状：全小中30校 目標：全小中30校
地産地消の食材を取り入れた献立の充実	学校給食を「生きた教材」として使用	継続	地産地消の食材を給食に取り入れ、千産千消の取組を行う。 現状：77.1% 目標：85%以上	地元で生産された食材を学校給食で提供し、11月の千産千消デーの取組を給食時間での校内放送や給食だより、掲示物、ホームページ等で情報発信した。 【地元生産食材利用率】 74.2%	B	天候等により予定した食材の産地の納品がなかった。旬の季節に合わせた地産食材の活用も必要である。	学校給食課と連携を図りながら、安心安全な地産食材を活用した献立作成を行う。	地産地消の食材を給食に取り入れ、千産千消の取組を行う。 現状：74.2% 目標：85%以上
食に関する情報提供	保護者への情報提供の充実	継続	献立表や給食だよりを家庭に配付し、旬な話題を発信する。 現状：随時（毎月） 目標：随時（毎月）	献立表や給食だよりを毎月発行し、積極的な情報発信をすることができている。	A	全家庭に献立表や給食だよりを配付している	引き続き情報発信に努める。	献立表や給食だよりを家庭に配付し、旬な話題を発信する。 現状：随時（毎月） 目標：随時（毎月）
教職員の食育に対する意識高揚と資質の向上	食育に関する研修や食指導の実践を通して教職員の意識を高めます	継続	教職員の食に関する専門性を高める研修の受講を推進する。 現状：年1回 14校 目標：年1回 30校	栄養教諭や栄養士については、木更津市学校給食部会での研修をはじめ、君津地方学校給食会、その他の研修会に積極的に参加することができた。 参加校：20校	C	R4年の14校から20校に増えたものの目標には達しなかった。	栄養教諭や栄養士のいない学校の受講率に課題があるため、研修会を周知し、積極的な参加を働きかける。	教職員の食に関する専門性を高める研修の受講を推進する。 現状：年1回 14校 目標：年1回 30校

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 小中学校栄養士代表

協議会委員名 坂井 幸栄

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
各小中学校における計画的な食育の推進	食育の全体指導計画を把握し、計画的に実施します	継続	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 提供施設数 現状：8調理施設 目標：9調理施設	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行いました。 提供施設数 8調理施設	B	地場産物や行事食等使用計画を作成	献立を作成する上での基準を地場産物の使用計画を作成することで給食時間の充実を図る。	食に関する指導計画に学校給食の関わりを明記し、教育活動と関連付けた給食の提供を行います。 提供施設数 現状：8調理施設 目標：9調理施設
地産地消の食材を取り入れた献立の充実	地元で生産された食材の積極的な使用に努めます	継続	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信する。 〔地元生産食材使用率〕 現状：71.1% 目標：85%以上	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信しました。 〔地元生産食材使用率〕 74.2%	B	天候等により予定していた食材の産地の納品がなかった。物価高騰により、地元産より安価な国産を購入した。	協力関係者と連携し、市場の流通状況や産地情報を意識した献立作成に取り組む。	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取り組みを給食だよりや掲示物等を活用して情報発信する。 〔地元生産食材使用率〕 現状：74.2% 目標：85%以上
食育に関する情報の提供	保護者へ食育に関する情報発信の充実を図ります	継続	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 〔情報発信回数〕 現状：年2回以上 目標：年2回以上	旬な話題を給食だより臨時号等で発信しました。 〔情報発信回数〕 年2回	A	目標回数達成 テーマに沿った情報を発信	市の取り組む情報を学校と共有するとともに学校給食と関連付けた情報を発信する。	旬な話題を給食だより臨時号等で発信します。 〔情報発信回数〕 現状：年2回以上 目標：年2回以上
食育に対する意識高揚と資質の向上	食育に関する研修を受講します	継続	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信する。 現状：年1回 目標：年2回以上	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信しました。 また自主的研修にも参加しました。 年2回	A	目標回数達成 栄養士としての専門性を生かした発信	情報を教職員と共有することで、学校全体で食育に取り組む。	食育に関する研修を積極的に受講し、教職員へ発信する。 現状：年2回以上 目標：年2回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 木更津市社会福祉協議会

協議会委員名 上野 順子

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
食品ロス削減の推進	食品ロスの削減を広く訴え、受け皿としてのフードバンクの充実を図る	継続	社協広報紙及びHP、民生委員の定例会などにて、フードバンクの紹介と食品ロスの削減を結び付けたPRを展開し、フードバンクへの積極的な協力を実施します。	社協広報紙「福祉きさらづ第168号」にフードバンクの紹介（食品ロス削減）の記事を掲載した。（41,270部発行） フードバンクのPR活動を実施した結果、2,287.7kgの食品が集まったので、1/20にフードパントリーを実施し、158世帯へ食料を配布。食品ロス削減の取組を実施した。	A	社協広報紙「福祉きさらづ」により食品ロス削減について広く広報できた。 フードバンクにて集まった食材をフードパントリーに活用し食品ロス削減につながった。	継続実施	社協広報紙と民生委員の定例会などにて、フードバンクの紹介と食品ロス削減を結び付けたPRを展開する。 食品ロス削減にあたり、フードバンクで集まった食材は年1回開催するフードパントリーにて必要な方に配布する。
	学校給食センターと連携し、給食中止による食品ロスの削減を図る	継続	学校給食センターと連携し、インフルエンザ及びコロナ等で学校閉鎖や学級閉鎖になった給食の食材を市内12ヶ所の子ども食堂へ提供し食材の有効活用することにより食品ロスの削減を図る。	学校給食中止により給食センターからの食材43件、13,029点を受け入れ、市内12ヶ所の子ども食堂へ提供した。	A	学校給食センターからの食材を子ども食堂へ提供したことで食品ロスの削減になった。	継続実施	学校給食センターと連携し、給食中止により余った食材を有効的に子ども食堂へ提供することにより食品ロスの削減を図る。

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 木更津市食生活改善サポーターの会

協議会委員名 北原 美奈子

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
食文化の継承活動の推進	地域の伝統的な食文化の普及啓発	継続	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に年5回以上実施します。  現状：5回実施 目標：5回以上実施	学校や公民館から依頼のあった、地域の伝承料理や特産品を使った講習会を市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に8回実施しました。	A	目標回数を達成	学校や公民館からの依頼の他、市民を対象とした講習会の開催を実施する。	地域の伝承料理や特産品の啓発を、市内学校に通う児童・生徒、市民を対象に年8回以上実施します。また、市主催の地域の伝統食（太巻き寿司）講習会を1回以上開催します。  現状：8回実施 目標：8回以上実施
ライフスタイルや多様な暮らしに対応した食育の推進	健全な食生活を実践できる人の増加を目指し、健康推進課事業と連動した啓発活動を行う	継続	乳幼児健康診査等の会場で健診に来場した保護者を対象に、朝食摂取についてのリーフレット配布します。  現状：3回実施 目標：30回以上（800名前後）実施	若年期健康診査（対象：30歳代の市民の方）及び乳幼児健康診査会場での朝食についてのリーフレット配布を28回（765名）実施しました。	B	目標回数・人数の90%を達成	引き続き、健診等の不特定多数の住民へアプローチできる場を活用し、より多くの若年世代・子育て世代への啓発活動を行う。	乳幼児健康診査等の会場で健診に来場した保護者を対象に、朝食摂取についてのリーフレットを配布します。  現状：28回実施 目標：30回以上（800名前後）実施
	料理教室を通して栄養バランスのよい食の普及啓発	継続	公民館等で市民を対象とした料理教室（講習会）を開催します。  現状：4回実施 目標：4回以上実施	公民館等で市民を対象とした料理教室（講習会）を5回開催しました。	A	目標回数を達成	依頼のない公民館については、サポーターから公民館へ講習会の提案を行う。	公民館等で市民を対象とした料理教室（講習会）を開催します。  現状：5回実施 目標：5回以上実施
地産地消の推進	地元農産物の情報提供	継続	地元農産物のレシピを作成・紹介します。  現状：7回実施 目標：7回以上	地元農産物のレシピを15回紹介しました。 イオンモール木更津 2回（1,819名） 中央公民館 1回 桜井公民館 1回 富来田公民館 1回 広報きさらづ 4回（1回あたり47,000部） 「きさらづごはん」（木更津市公式YouTubeチャンネル） 6回	A	目標回数を達成	前年度は、「きさらづごはん」の動画があり回数が増えたが、市広報誌、イオンモール木更津、健康診査会場での啓発を中心に行っていく。	地元農産物のレシピを作成・紹介します。  現状：15回実施 目標：10回以上

木更津市食育推進協議会委員関係団体等の食育取組評価（令和5年度）・取組計画（令和6年度）

団体・事業所名 木更津市シニアクラブ連合会  
協議会委員名 高安 清美

目標	取組内容	区分	令和5年度取組内容	取組の実施状況（R5）	評価	評価の理由 取組上の課題・問題・改善等	令和5年度実施結果に 基づく改善内容	令和6年度取組内容
健康で壮年期を過ごす	毎日、なるべく20品目を地元農産物で食するよう啓発を行う	継続	19のシニアクラブ全てで食についての取組みを行うよう、連合会理事会等で啓発を行います。 全シニアクラブの定例会で啓発を実施する。  現状：1/3 目標：100%	月1回の定例会において、その都度食について話し合うことにより食に気を使うことができた。 実施：半数	C	各シニアクラブの例会のやり方に差があると感じる（遊ぶことを主に行っているところもある）。その中に勉強も少し取り入れた方がベスト。	シニアクラブの交流会を通じて、取組の意義を知ることがあると思う。	19のシニアクラブ全てで食についての取組みを行うよう、連合会理事会等で啓発を行います。 全シニアクラブの定例会で啓発を実施する。  現状：半分 目標：100%